

KENWOOD

マルチコントロールMDレシーバー

M909

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION



使いこなし!

ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

Source Selection

Audio Control

Display Control

Function Control

Clock / Timer Control

MD Mode

Tuner Mode

Name Set / SBF

ここさえ読めばひとまずOK!

イージーオペレーション

EZ Operation

EZ Operation



この製品は、ドルビーラオラトリーズライセンスング
コーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾
製品です。

© PRINTED IN JAPAN B64-1334-00(+)
00/4 3 2 1 99/12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室 (東京) 電話(03)3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9
(大阪) 電話(06)6357-5335 〒594-0024 大阪府都島区東野田町1-20-5 (大阪京橋第一生命ビル)
(土、日、祝祭日および当社休日は休まさせていただきます。)
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、
最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。

Options

Remote Control

Trouble Shooting

Contents

Contents2
 本書の読みかた4
 安全上のご注意6
 使用上のご注意8
 MDの取り扱い10

ここさえ読めばひとまずOK!
 イージーオペレーション

EZ Operation

EZ Operation12

リモコンでも操作できるゾ!

Remote Control

Remote Control44
 Common Operation
 Tuner Operation
 Disc Operation
 Tape Operation
 TV Operation
 SNPS/DNPS+SFB Operation
 電池の交換

困ったときのお助けページ! トラブルシューティング

Trouble Shooting

Trouble Shooting48

付録

Appendices

取り付け時のご注意54
 接続56
 取り付け59
 ヒューズの交換59
 保証とアフターサービス60
 仕様一覧61

使いこなし! ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

Source Selection14
 ソース選択

Audio Control15
 オーディオコントロール

Display Control16
 ディスプレイ中央表示
 ディスプレイ左右表示
 操作パネル角度調節

Function Control17
 ファンクション設定

Clock / Timer Control18
 クロック/タイマーモード切り替え
 時刻合わせ
 ストップウォッチ
 タイマー
 アラーム

MD Mode22
 トラックリピートプレイ
 トラックスキャンプレイ
 トラックランダムプレイ
 トラックサーチ
 マニュアルサーチ
 タイトルスクロール

Tuner Mode24
 バンド切り替え
 チューニング
 オートメモリー
 マニュアルメモリー
 プリセットチューニング
 強制モノラル受信

Name Set / SFB26
 SNPS (ステーションネームプリセット)
 DNPS (ディスクネームプリセット)
 SFB (セレクトバイファイル)
 イニシャル検索

オプションも使いこなそう! オプションズ

Options

External Disc Control30
 ディスクサーチ
 トラックサーチ
 マニュアルサーチ
 トラックリピートプレイ
 トラックスキャンプレイ
 トラックランダムプレイ
 ディスクリピートプレイ
 ダイレクトディスクサーチ
 ディスクスキャンプレイ
 マガジンランダムプレイ
 タイトル/テキストスクロール
 演奏時間表示切り替え

Tape Control34
 早送り/巻戻し
 DPSS (ダイレクトプログラムサーチシステム)
 ドルビーB NRシステム
 インテックススキャンプレイ
 ブランクスキップ
 リピートプレイ
 プログラム
 テープセレクトター

TV Control36
 チューニング
 バンド/ビデオ切り替え
 オートメモリー
 マニュアルメモリー
 プリセットチューニング
 音声多重切り替え

DSP Control38
 サウンドフィールドの選択
 DSPの調節
 イコライザーモードの選択
 イコライザーカーブの調節
 ポジションの選択
 ルームサイズの選択
 ユーザー設定のメモリー
 ユーザー設定の呼び出し
 DSPディフェルト

Source Selection

Audio Control

Display Control

Function Control

Clock / Timer Control

MD Mode

Tuner Mode

Name Set / SFB

EZ Operation

Options

Remote Control

Trouble Shooting

本書の読みかた

この取扱説明書では、本機の使いかたや別売品を大きく次の3つのブロックに分けて説明しています。

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

使いこなし! ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

オプションも使いこなそう! オプションズ

Options

これらのほかに、リモコンによる操作を説明した [Remote Control]、思ったとおりに動作しないときに読んでいただきたい [Trouble Shooting]、本機の取り付け方法などを説明した [Appendices] があります。

すぐに使いたいかたのために、必要最小限の機能をできるだけ簡単に説明しています。ここだけ読めば、とりあえずお使いいただけます。

すべての機能をステップバイステップで、かつ視覚的に説明しています。ここを読めば、十分に使いこなすことができます。

本機に接続できる別売品のすべての機能の使いかたを説明しています。別売品を接続しているときにお読みください。

本書でのマーク

共通の操作
ソースにかかわらず共通の操作を表しています。

MDの操作
MDをプレイする操作を表しています。

チューナーの操作
FM/AM放送を受信する操作を表しています。

注意
ケガなどを防ぐための大切な注意事項を表しています。

メモ
本機の損傷を防ぐための注意事項を表しています。また、機能・使用方法の制限や使いかたのアドバイスも表しています。

短かく押す
ボタンをチョンと押すことを表します。

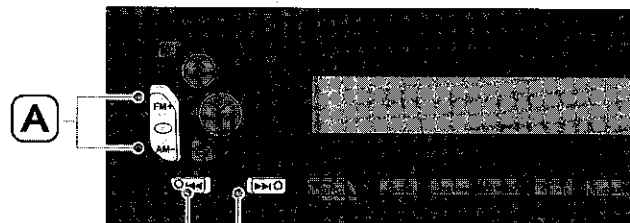


1秒以上押す
1秒以上（メモリーに書き込むときは2秒以上）押す操作を表しています。



動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表します。
通常、約1秒間押します。また、メモリーに書き込むときには約2秒間押します。

Clock/Timer Control



この辺ボタンABC…
操作するボタンがどこにあるのか…、位置を表すためのマークです。

時刻合わせ

時計を合わせます。

1 時計モードにします



2 時計合わせを開始します



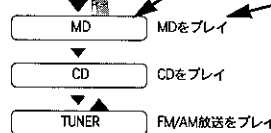
ディスプレイ表示
このディスプレイが表示されるまでボタンを押すことを表します。

3 “時”を合わせます



表示される文字/内容

ディスプレイ表示
スクロール
ボタンを押すたびに切り替わるモードや表示を表します。



内容の説明

ストップ

ストップウォッチ

1 ストップ



2 計測



3 計測



- Source Selection
- Audio Control
- Display Control
- Function Control
- Clock / Timer Control
- MD Mode
- Tuner Mode
- Name Set / SBR
- Options
- Remote Control
- Trouble Shooting

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」
をご使用の前によくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



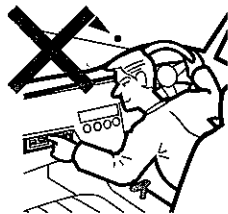
実施

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守り下さい。

警告



実施

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

●音量調節などのカーオーディオの操作

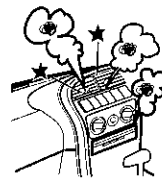


実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



禁止

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



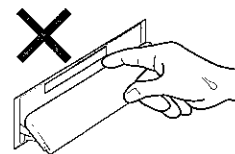
禁止

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

注意



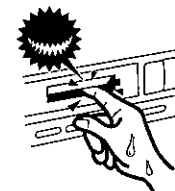
禁止



操作パネル部の開閉中には、手や指を近づけないでください。挟まれてケガをすることがあります。



禁止



カセットテープ挿入口やディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。



禁止

製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



禁止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。

使用上のご注意

本機には 下記の別売品ユニットを 接続できます

- ◆DSP/CDプレーヤー/カセットプレーヤー
 - ・DSPグラフィックイコライザーCDプレーヤー “D909” / “D707”
 - ・DSPグラフィックイコライザーカセットプレーヤー “X909” / “X707”
 - ・DSPイコライザー “P707”以上のうちいずれか1台
- ◆CDチェンジャー
 - ・10枚CDチェンジャー “C910” / “C710”
 - ・6枚CDチェンジャー “C906” / “C706”
- ◆MDチェンジャー
 - ・ミニディスクオートチェンジャー “MD56”
(別売品のBUS変換ボックス “CA-57ZX” が必要です)
- ◆TVモニター/CDプレーヤー
 - ・7inch ワイドインダッシュTV “LZ-M700”
 - ・5.8inch ワイドインダッシュTV・CDプレーヤー “VZ907”以上のうちいずれか1台
- ◆ナビゲーションシステム
 - ・マルチネットワークナビゲーションシステム “GZ-1000”

なお、MDチェンジャーとCDチェンジャーは各2台、合計4台まで接続できます。ただし、BUS変換ボックス “CA-57ZX” を使用している場合は、接続できる外部ディスクチェンジャーはCDチェンジャーとMDチェンジャーの合計で2台までになります。

取り付け時の注意

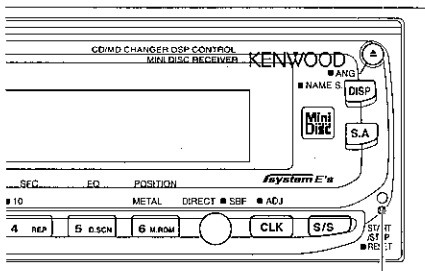
直射日光のあたる場所、熱風のあたる場所、水のかかる場所、しっかりした取り付けのできない場所、振動の多い場所には設置しないでください。

セットのお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でからぶきしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものでふくと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

セットの異常に お気づきのときは

万一、セットの異常にお気づきのときは、まず本機のリセットボタンをペン先などで押してください。それでも正常に戻らないときは、そのままの状態で購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へ連絡してください。



リセットボタン

リモコンの電池について

操作できる距離が短くなったり、なかなか動作しない場合は、乾電池が消耗していることが考えられます。このような場合は、2個とも新しい乾電池と交換してください。新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用すると、液漏れなどによる故障の原因になります。

電池を充電、ショート、分解、加熱したり、火の中に入れてたりしないでください。液漏れを起こす危険があります。液漏れを起こし、目に入ったり、皮膚や衣類に付着したときは、すぐに水で洗い流し、すぐに医師に相談してください。また、電池は子供の手の届かないところに置き、万一飲み込んだときは、すぐに医師に相談してください。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではMDの読み取りができなくなります。

このようなときは、MDを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へ連絡してください。

温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてMDの演奏ができなくなります。このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

MDの取り扱い

MDのお手入れ

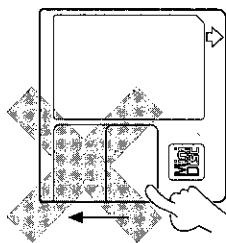
カートリッジ表面の汚れや、ゴミは乾いた布でふき取ってから使用してください。特に油汚れが付いた状態で使用しますと、ディスクがローディングされなかったり、取り出せなくなることがあります。

また、お手入れされるときは、シャッターを開かないようご注意ください。

MDのシャッターについて

MDのシャッターは開けられないようになっております。無理に開けるとカートリッジが破損して使用できなくなります。

シャッターが何らかの原因で開いてしまったときには、記録部分を指で触らないようにしてください。記録部分に触れると使用できなくなったり、音飛びを頻繁に起こすようになります。

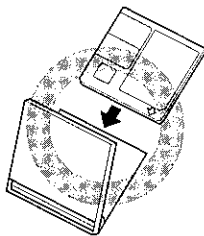


ラベルのはがれかかったMDは

ラベルのはがれかかったMDは使用しないでください。ラベルが浮いていたり、はがれかかっているMDを使用すると、本機の中ではがれて取り出せなくなるなど故障の原因となります。

保管について

MDを長時間本機に入れたままにしないでください。また、取り出したMDは、MD専用ケースに入れて保管してください。

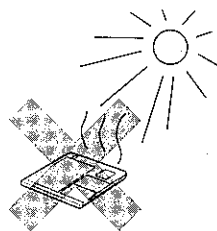


データ用のMDについて

データ用のMDは使用できません。音楽用のMDを使用してください。

高温に注意

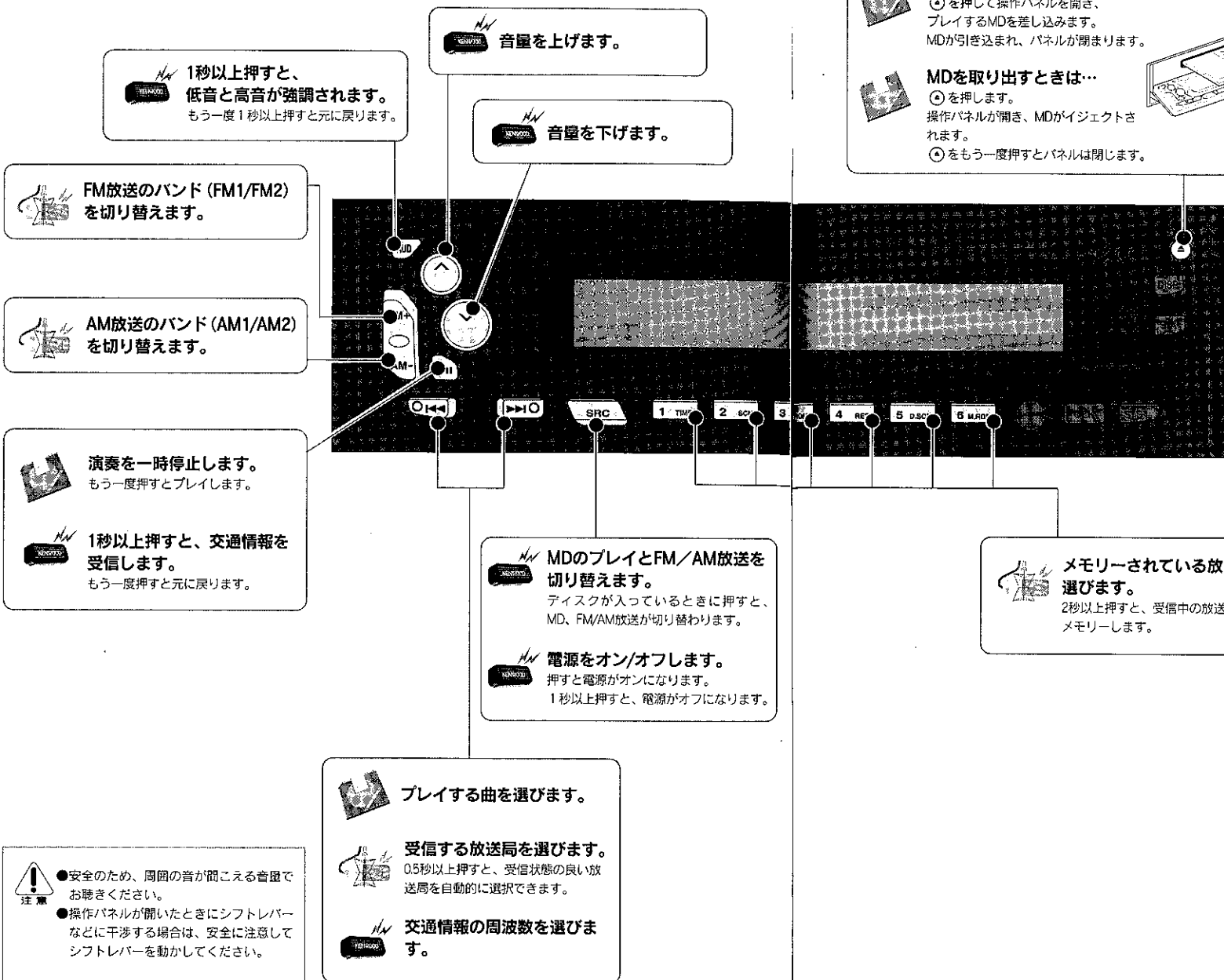
MDを直射日光の当たる場所（ダッシュボードの上など）など温度が高くなるような場所に放置しないでください。MDのカートリッジが変形して使用できなくなります。



レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。故障の原因になります。

ディスクのプレイは簡単！ ディスクを差し込むだけです。

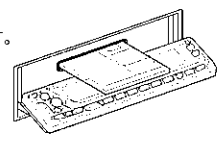


注意

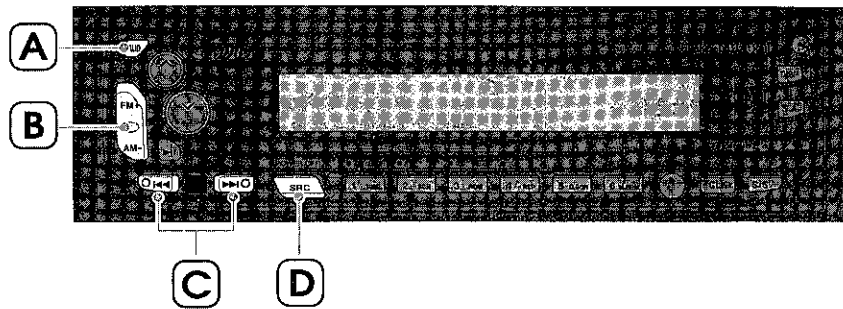
- 安全のため、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。
- 操作パネルが開いたときにシフトレバーなどに干渉する場合は、安全に注意してシフトレバーを動かしてください。

MDをプレイするときは…
 ①を押して操作パネルを開き、プレイするMDを差し込みます。MDが引き込まれ、パネルが開きます。

MDを取り出すときは…
 ②を押します。操作パネルが開き、MDがイジェクトされます。
 ③をもう一度押すとパネルは閉じます。



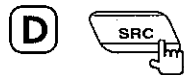
- Source Selection
- Audio Control
- Display Control
- Function Control
- Clock / Timer Control
- MD Mode
- Tuner Mode
- Name Set / SBF
- Options
- Remote Control
- Trouble Shooting



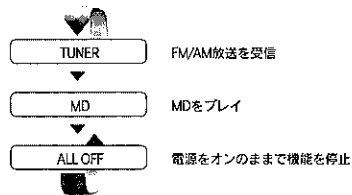
プレイするソースを選びます。
また、音質などを調節します。

ソース選択

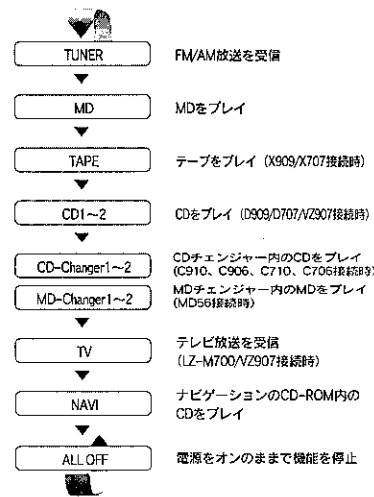
プレイするソースを切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。



別売品が接続されているときには、次の順で切り替わります。



オーディオコントロール

音質やバランスなどを設定します。

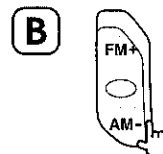
1 調節するソースに切り替えます

2 オーディオコントロールをオンにします



別売品のP707が接続されている場合は2回押します。

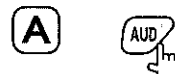
3 設定する項目を選択します



4 値を選択します



5 オーディオコントロールをオフにします

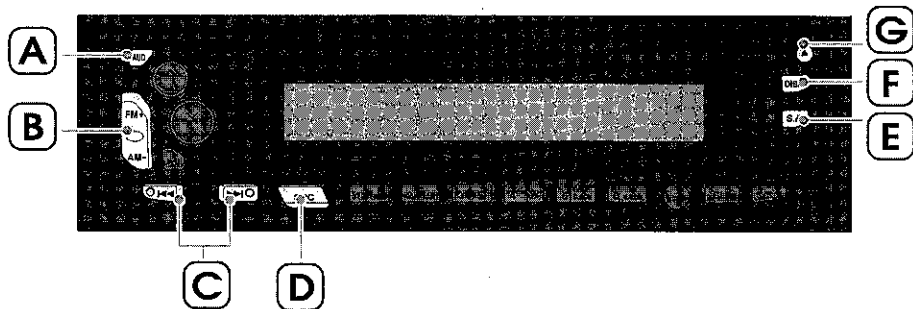


または、約10秒間以上、何も操作しないでおきます。

● BASS (低音) と TREBLE (高音) は、各ソースごとにメモリーされます。

設定できる項目と値は次のとおりです。

設定項目	設定値
BASS (低音)	-4~+4
TREBLE (高音)	-4~+4
BALANCE (左右)	L15~R15
FADER (前後)	F15~R15
HPF F (フロント低音カット)	THROU/40/60/80/100/120/150/180/220(Hz)
HPF R (リア低音カット)	THROU/40/60/80/100/120/150/180/220(Hz)
N-F LV (ノンフェーダープリアウト出力レベル)	-35~+5



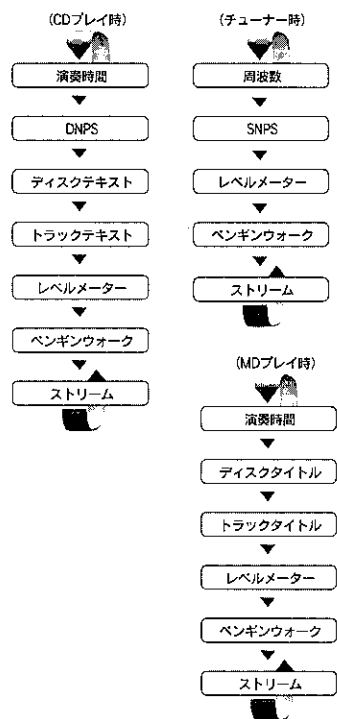
ディスプレイに表示される情報を切り替えます。
また、本機の各種の機能を設定します。

ディスプレイ中央表示

ディスプレイの中央に表示される情報を切り替えます。

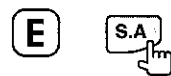


押すたびに次の順で切り替わります。



ディスプレイ左右表示

ディスプレイの左右の表示方法を切り替えます。



押すたびに、ソース表示およびその他の5種類のパターンが順に切り替わります。

操作パネル角度調節

操作パネルを見やすい角度に調整します。



1秒以上押すたびに、操作パネルが1ステップずつ3段階にスライドします。

● 電源をOFFにするとパネルは閉じた状態になります。再び電源をONにすると調節した角度になります。

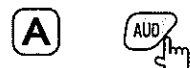
ファンクション設定

操作時のピープ音などの各種の機能を設定します。

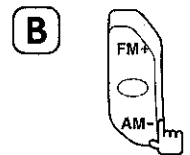
1 ALL OFFモードにします



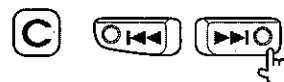
2 ファンクションコントロールをオンにします



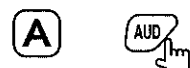
3 設定する項目を選択します



4 値を選択します



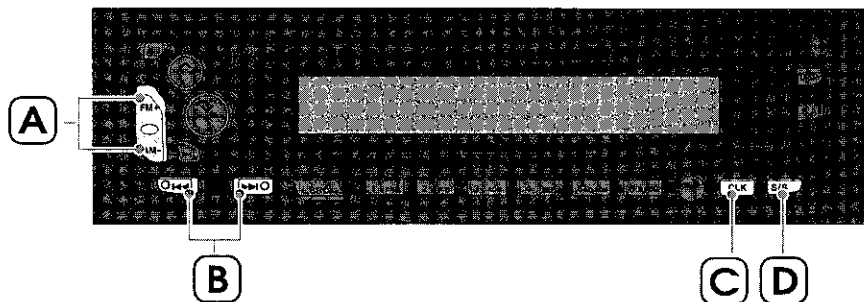
5 ファンクションコントロールをオフにします



設定できる項目と値は次のとおりです。

設定項目	設定値
BEEP (ピープ音)	ON/OFF
FM DIVER (FMダイバシティシステム)	ON/OFF
DIMMER (ライトスイッチがオンの際のディスプレイの明るさ)	LOW/MID/HIGH
ANG.LINK (D909/X909/D707/X707の操作パネルの角度を連動)	ON/OFF
SILENT (落ち着いた表示)	ON/OFF

(太字は初期設定値)



時刻を合わせたり、アラームをセットしたりします。

クロック/タイマーモード切り替え

クロック/タイマーモードを切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。



時刻合わせ

時計を合わせます。

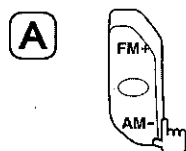
1 時計モードにします



2 時計合わせを開始します



3 "時" を合わせます



4 "分" を合わせます



時報に合わせてときは



5 時刻合わせを終了します



00秒からカウントがスタートします。

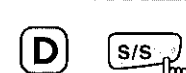
ストップウォッチ

ストップウォッチとして使うこともできます。

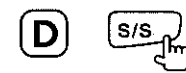
1 ストップウォッチモードにします



2 計測を開始します



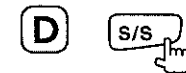
3 計測を停止します

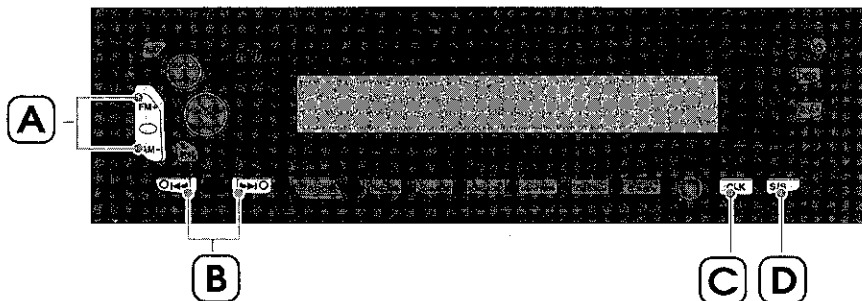


4 時間をクリアするときは...



計測を再開するときは





タイマー

セットした時間が経過したときにピープ音を鳴らします。

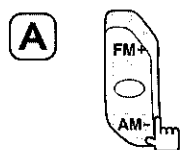
1 タイマーモードにします



2 タイマーの時間合わせを開始します



3 "時" をセットします



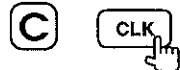
4 "分" をセットします



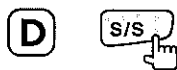
"00" にするときは



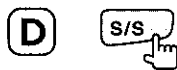
5 時間合わせを終了します



6 タイマーをスタートします



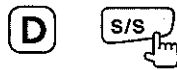
タイマーを停止するときは



タイマーをクリアするときは



7 ビープ音を止めます



または、約5秒間で止まります。

アラーム

セットした時刻にピープ音を鳴らします。

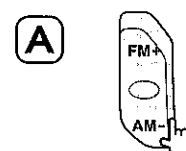
1 アラームモードにします



2 アラームの時刻合わせを開始します



3 "時" をセットします



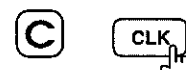
4 "分" をセットします



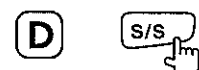
"00" にするときは



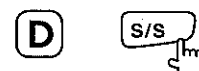
5 時刻合わせを終了します



6 アラームをオンにします



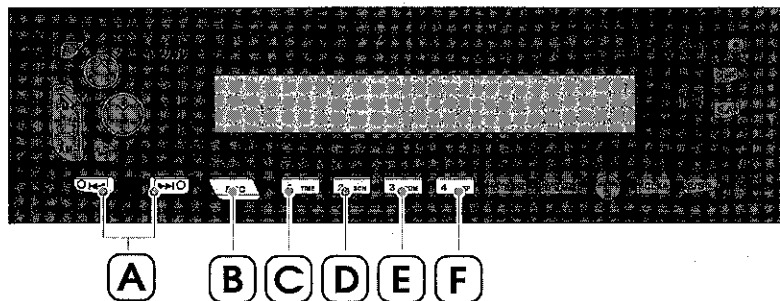
7 アラームをオフにします



8 ビープ音を止めます



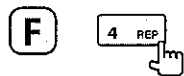
または、約15秒間で止まります。



MDをいろいろにプレイします。

トラックリピートプレイ

現在聴いている曲を繰り返しプレイします。

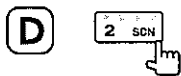


押すたびに、トラックリピートプレイがオン/オフされます。

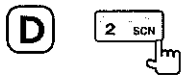
トラックスキャンプレイ

ディスク内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探すことができます。

1 トラックスキャンプレイを開始します



2 聴きたい曲のところで...

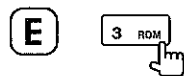


その曲からプレイされます。

- すべてのトラックがスキャンされると、トラックスキャンは、自動的に終了します。

トラックランダムプレイ

現在のディスク内の曲をランダムな順でプレイします。



押すたびに、トラックランダムプレイがオン/オフされます。

トラックサーチ

順に曲を選びます。



押すたびに、次の曲、または現在プレイ中の曲の先頭/前の曲へトラックサーチします。

マニュアルサーチ

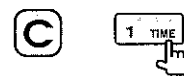
現在プレイ中の曲を早送り/早戻しします。



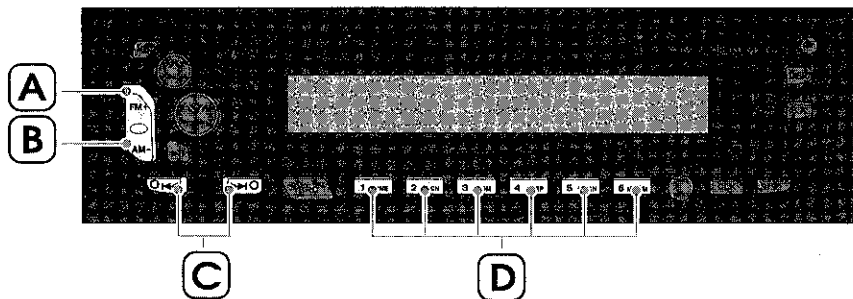
ボタンを押している間だけ、早送り/早戻しされます。

タイトルスクロール

ディスクタイトルやトラックタイトルなどを流れる文字で表示します。



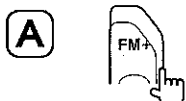
押すたびに、タイトルスクロールがオン/オフします。オン時は表示が常にスクロールします。オフ時は表示が切り替わったときに1回スクロールします。



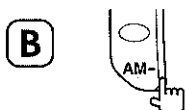
FM/AM放送を受信できます。
また、各バンドごとに6局までの放送局をメモリーしておくこともできます。

バンド切り替え

FM1とFM2を切り替えます。



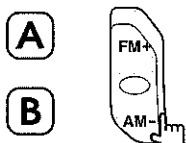
AM1とAM2を切り替えます。



チューニング

受信する放送局を選びます。

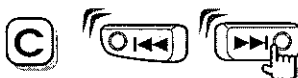
1 バンドを選びます



2 放送局を選びます



押すたびに、周波数が1ステップずつ変わります。

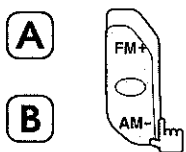


受信状態の良い放送局を自動的に選びます。

オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。

1 バンドを選びます



2 オートメモリーします

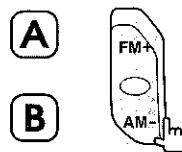


6局メモリーするか、周波数を一周すると自動的にオートメモリーは終了します。

マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーします。

1 バンドを選びます



2 放送局を選びます



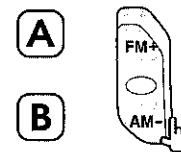
3 メモリーするボタン (1~6のいずれか) を選びます



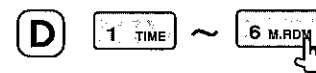
プリセットチューニング

メモリーボタン (1~6) にメモリーされている放送局を受信します。

1 バンドを選びます



2 メモリーボタン (1~6のいずれか) を選びます

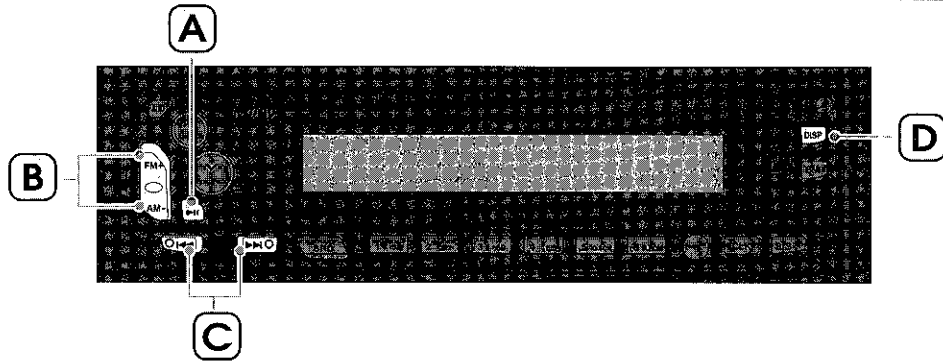


強制モノラル受信

FM放送のノイズが多いときに、モノラルに切り替えてノイズを少なくします。



1秒以上押すたびに、モノラル受信のオン/オフが切り替わります。



FM/AM放送局やCDに名前を付けて表示させることができます (SNPS/DNPS)。ディスクテキストやディスクタイトル、DNPS、SNPSでディスクや放送局を選択することもできます。

SNPS (ステーションネームプリセット)

FM/AM放送局に名前を付けます。
FM/AM放送局にそれぞれ30局までステーションネームをセットできます。

1 放送局を選びます

24ページを参照してください。

2 SNPSを開始します



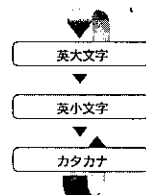
3 文字を入力する位置にカーソルを移動します



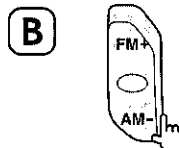
4 文字の種類を選びます



押すたびに次の順で切り替わります。

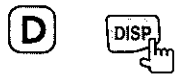


5 文字を選びます



6 3~5を繰り返して、すべての文字を入力します

7 SNPSを終了します



- 10秒間操作を中断すると、その時点で名前が確定されます。
- 名前は12文字まで登録できます。

DNPS (ディスクネームプリセット)

CDに名前を付けます。
CD1/2は各10枚まで、CDチェンジャーは各100枚までディスクネームをセットできます。

1 名前を付けるCDをプレイします

2 DNPSを開始します



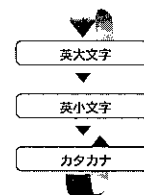
3 文字を入力する位置にカーソルを移動します



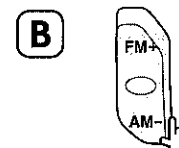
4 文字の種類を選びます



押すたびに次の順で切り替わります。

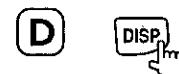


5 文字を選びます

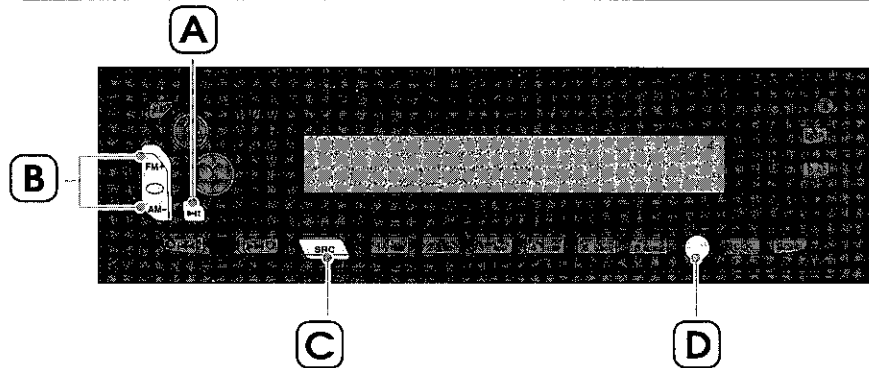


6 3~5を繰り返して、すべての文字を入力します

7 DNPSを終了します



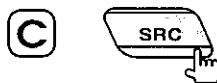
- 10秒間操作を中断すると、その時点で名前が確定されます。
- CDはトラック数(曲数)と総録音時間で識別されます。このため、これらが同じCDがセットされている場合には識別できません。
- 名前は12文字まで登録できます。



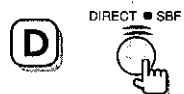
SBF (セレクトバイファイル)

メモリーボタンに記憶されているFM/AM放送局を名前前で選択できます。

1 FM/AM放送局を受信します

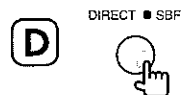


2 SBFを開始します



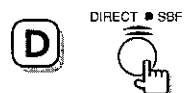
メモリーボタンに記憶されている放送局名が5秒間ずつ次々と表示されます。

3 聴きたいFM/AM放送局を選びます



- [FM] または [AM] でFM/AM放送局名を早送り/早戻しできます。
- [FM] でFM1/2バンドにメモリーされている放送局名に、[AM] でAM1/2バンドにメモリーされている放送局名に切り替わります。
- SNPSで名前が登録されていない放送局は周波数が表示されます。

4 SBFを中止するときは…



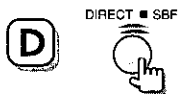
イニシャル検索

MDやCDを名前のイニシャルで選択します。

1 MDまたはCDをプレイします



2 SBFを開始します



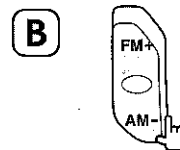
3 文字の種類を選びます



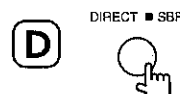
押すたびに次の順で切り替わります。



4 イニシャルの文字を選びます



5 検索します



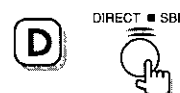
指定した文字で始まるディスクが5秒間ずつ次々と表示されます。

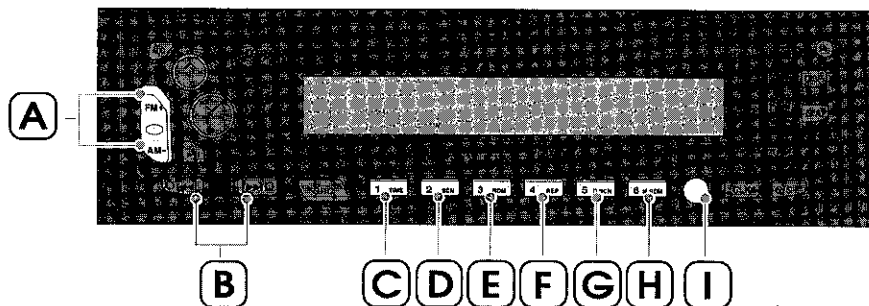
6 プレイするディスクを選びます



- [FM] または [AM] でディスク名を早送り/早戻しできます。
- 指定したイニシャルに該当するディスクが1枚しかないときは手順6の操作は省略されて、すぐにそのディスクのプレイが始まります。
- 手順3~4を省略すると、すべてのディスクが検索対象になります。

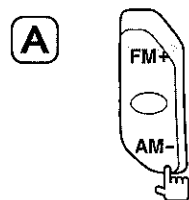
7 イニシャル検索を中止するときは…





別売品のTV・CDプレーヤー“VZ907”、CDチェンジャー“C910”/“C906”/“C710”/“C706”、MDチェンジャー“MD56”、またはDSPグラフィックイコライザーCDプレーヤー“D909”/“D707”を接続しているときは、本機からコントロールできます。

ディスクサーチ (チェンジャーのみ)
プレイするディスクを選択します。



トラックサーチ
順に曲を選びます。



押すたびに、次の曲、または現在プレイ中の曲の先頭/前の曲へトラックサーチします。

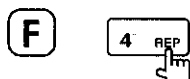
マニュアルサーチ

現在プレイ中の曲を早送り/早戻しします。



ボタンを押している間だけ、早送り/早戻しされます。

トラックリピートプレイ
現在聴いている曲を繰り返しプレイします。

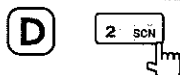


押すたびに、トラックリピートプレイがオン/オフされます。

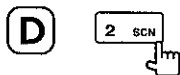
トラックスキャンプレイ

ディスク内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探ることができます。

1 **トラックスキャンプレイを開始します**



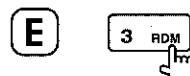
2 **聴きたい曲のところで...**



その曲からプレイします。

● すべてのトラックがスキャンされると、トラックスキャンは、自動的に終了します。

トラックランダムプレイ
現在のディスク内の曲をランダムな順でプレイします。



押すたびに、トラックランダムプレイがオン/オフされます。

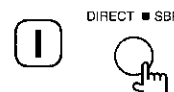
ディスクリピートプレイ (チェンジャーのみ)
現在のディスクを繰り返しプレイします。



1秒以上押すたびに、ディスクリピートプレイがオン/オフされます。

ダイレクトディスクサーチ (チェンジャーのみ)
チェンジャー内のディスクをダイレクトに選ぶことができます。

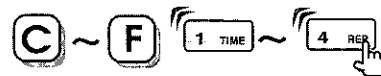
1 **ダイレクトモードを開始します**

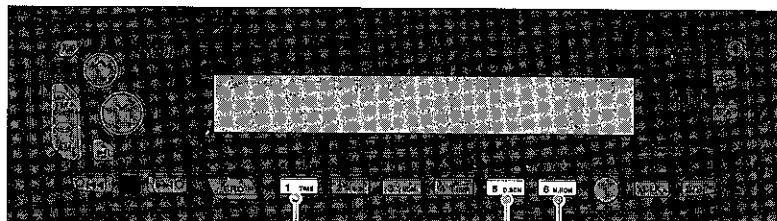


2 **プリセットボタン (1~6のいずれか) を選びます**



ディスク7~10を選ぶときは



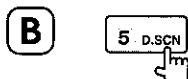


A

B C

ディスクスキャンプレイ (チェンジャーのみ)
マガジン内の各ディスクの先頭部分を10秒ずつプレイしてディスクを探すことができます。

1 ディスクスキャンプレイを開始します



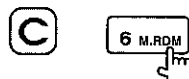
2 聴きたいディスクのところまで…



そのディスクからプレイします。

● すべてのディスクがスキャンされると、ディスクスキャンプレイは自動的に終了します。

マガジンランダムプレイ (チェンジャーのみ)
マガジン内のディスクをランダムな順でプレイします。



押すたびに、マガジンランダムプレイがオン/オフされます。

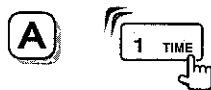
タイトル/テキストスクロール
ディスクタイトルやトラックタイトルなどを流れる文字で表示します。

MDプレイ中は



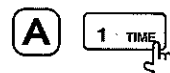
押すたびに、タイトルスクロールがオン/オフします。
オン時は表示が常にスクロールします。オフ時は表示が切り替わったときに1回スクロールします。

CDプレイ中は

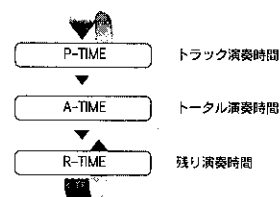


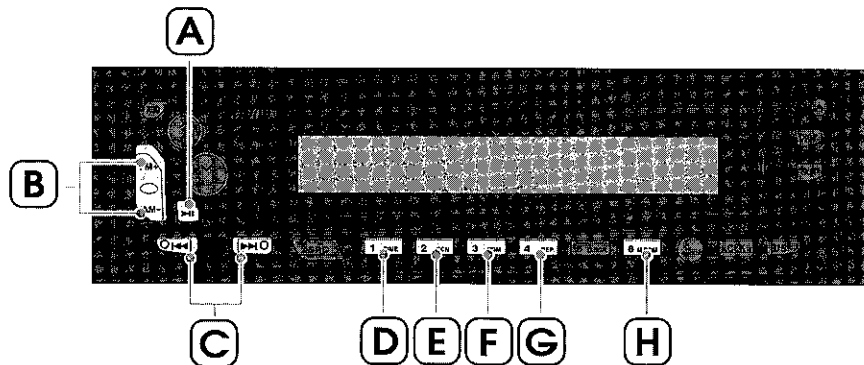
1秒以上押すたびに、テキストスクロールがオン/オフします。
オン時は表示が常にスクロールします。オフ時は表示が切り替わったときに1回スクロールします。

演奏時間表示切り替え (CDのみ)
表示するCDの演奏時間を切り替えます。



押すたびに、次の順に表示が切り替わります。

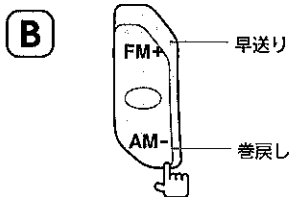




別売品のDSPグラフィックイコライザーカセットプレーヤー“X909”/“X707”を接続しているときには、本機からコントロールできます。

早送り／巻戻し

テープを早送り／巻戻しします。



DPSS (ダイレクトプログラムサーチシステム)
先の曲や前の曲を飛び越し選曲します。



連続して押すと、9曲まで飛び越し選曲できます。

ドルビーB NRシステム

ドルビーB NRシステムをオン／オフします。

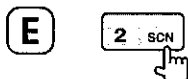


押すたびに、ドルビーB NRシステムがオン／オフされます。

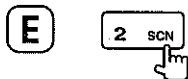
インデックススキャンプレイ

テープ内の各曲の先頭部分を10秒ずつプレイして曲を探すことができます。

1 インデックススキャンプレイを開始します



2 聴きたい曲のところで...



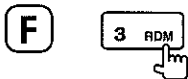
または



その曲からプレイされます。

ブランクスキップ

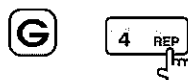
無録音部分を早送りします。



押すたびに、ブランクスキップがオン／オフされます。

リピートプレイ

現在の曲を繰り返しプレイします。



押すたびに、リピートプレイがオン／オフされます。

プログラム

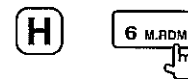
テープの再生方向 (A面とB面) を切り替えます。



押すたびに、テープの再生方向が切り替わります。

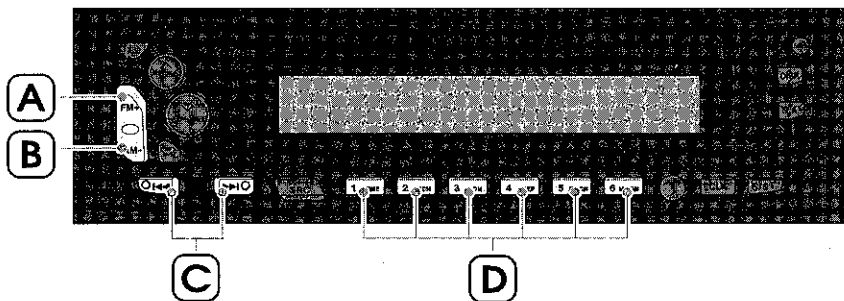
テープセレクトター

テープポジション (ノーマル／メタル) を切り替えます。



押すたびに、テープポジションが切り替わります。
なお、メタル (Type IV) またはクロム (Type II) はメタルポジションで使用します。

● DPSS、インデックススキャンプレイ、リピートプレイするためには、曲間に4秒間以上の無録音部分が必要です。



別売品のTVモニター“LZ-M700”または“VZ907”が接続されているときに、本機からコントロールすることもできます。

チューニング

受信するTV放送を選びます。



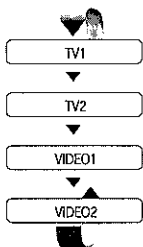
動作は接続している別売品のTVモニター側の設定によって異なります。詳しくは、そちらの取扱説明書を参照してください。

バンド/ビデオ切り替え

TV放送のバンドとビデオ入力を切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。



オートメモリー

バンドごとに受信状態の良い放送局を自動的にメモリーします。

1 バンドを選びます



2 オートメモリーします



● 6局メモリーするか、チャンネルを一巡すると自動的にオートメモリーは終了します。

マニュアルメモリー

受信中のTV放送局をメモリーします。

1 バンドを選びます



2 メモリーする放送局を選択します



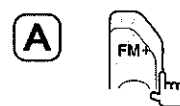
3 メモリーするボタン (1~6のいずれか) を選びます



プリセットチューニング

メモリーされているチャンネルを選びます。

1 バンドを選択します



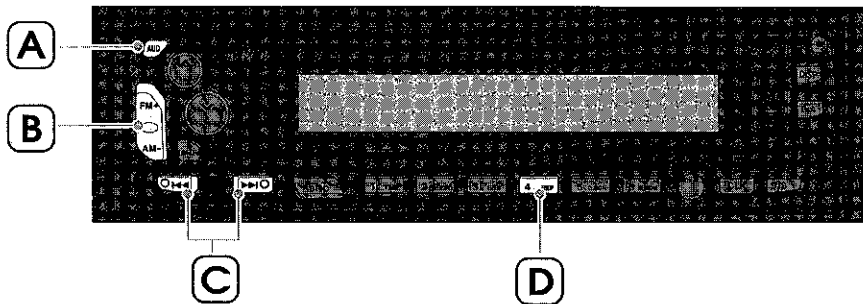
2 メモリーボタン (1~6のいずれか) を選びます



音声多重切り替え

音声多重のメイン音声とサブ音声を切り替えます。



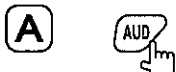


別売品のDSPイコライザー“P707”が接続されているときに、本機からコントロールします。
 なお、DSPグラフィックイコライザーCDプレーヤー“D909”/“D707”またはDSPグラフィックイコライザーカセットプレーヤー“X909”/“X707”のDSPはD909/D707またはX909/X707側でコントロールします。

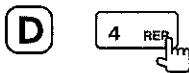
サウンドフィールドの選択

疑似音場効果を呼び出します。

1 DSPコントロールをオンにします



2 サウンドフィールドを選びます



押すたびに次の順で切り替わります。

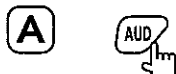
- ▼ **BYPASS** バイパス
- ▼ **CONCERT** コンサート
- ▼ **STADIUM** スタジアム
- ▼ **CHURCH** 教会
- ▼ **LIVE** ライブ
- ▼ **JAZZ** ジャズ
- ▼ **DISCO** ティスコ
- ▼ **STUDIO** スタジオ
- ▼ **L ROOM** リスニングルーム
- ▼ **CLUB** クラブ
- ▼ **THEATER** 劇場

● **[REP]** を1秒以上押し、サウンドフィールドをバイパス (BYPASS) にセットできます。

DSPの調節

DSPの効果のレベル (“SFC Lev○○”)、リア側での低音ブースト (“DBB Lev○○”) ダイナミックレンジの圧縮 (“Comp○○”) を調節します。

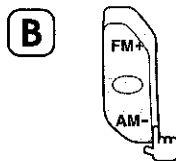
1 DSPコントロールをオンにします



2 SFCモードを選択します



3 調節する項目を選択します



押すたびに、次の順に表示が切り替わります。

- ▼ **SFC** サウンドフィールド
- ▼ **DBB** リアバスブースト
- ▼ **COMP** ダイナミックレンジコンプレッション

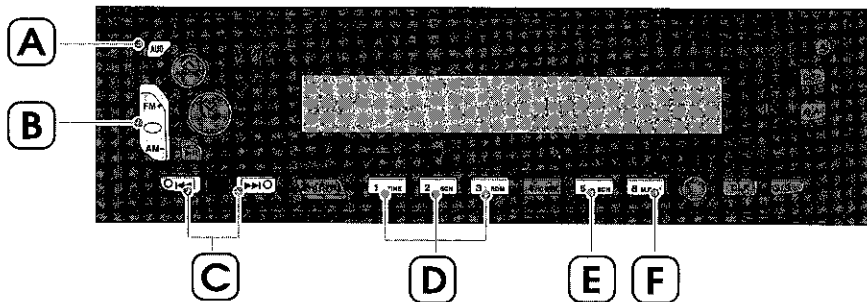
4 レベルを調節します



- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| (SFC) | (DBB) |
| ▼ HIGH DSPの効果大 | ▼ OFF ブーストオフ |
| ▼ MID (初期設定) | ▼ STEP1 ブースト域狭 |
| ▼ LOW DSPの効果小 | ▼ STEP2 (初期設定) |
| | ▼ STEP3 ブースト域広 |

- (Comp)
- ▼ **OFF** コンプレッションオフ (初期設定)
 - ▼ **STEP1** コンプレッションレベル小
 - ▼ **STEP2**
 - ▼ **STEP3** コンプレッションレベル大

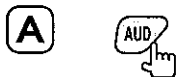
● サウンドフィールドがバイパス (BYPASS) の場合には “Comp” 以外は調節できません。



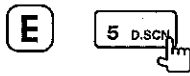
イコライザーモードの選択

イコライザーカーブを呼び出します。

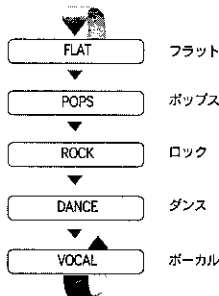
- 1 DSPコントロールをオンにします



- 2 イコライザーカーブを選択します



押すたびに次の順で切り替わります。

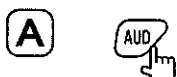


● [5 D.SCH] を1秒以上押しと、イコライザーカーブをフラット (FLAT) にセットできます。

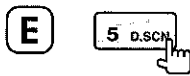
イコライザーカーブの調節

車や音楽に合わせて独自のイコライザーカーブに調節できます。

- 1 DSPコントロールをオンにします



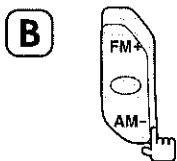
- 2 イコライザーカーブモードを選択します



- 3 調節する周波数を選びます



- 4 レベルを調節します



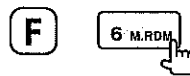
ポジションの選択

聴く位置に合わせてDSPの効果を調節します。

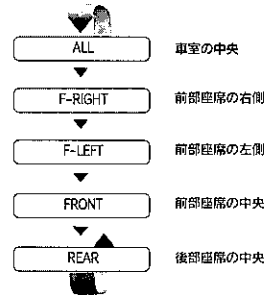
- 1 DSPコントロールをオンにします



- 2 ポジションを選びます



押すたびに次の順で切り替わります。



● バランス/フェーダーは中央位置で使用してください。
● [6 M.RDM] を1秒以上押しと、ポジションを車室の中央 (ALL) にセットできます。

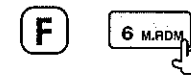
ルームサイズを選択

室内サイズやフロント/リアスピーカーの距離に合わせてDSPを調節します。

- 1 DSPコントロールをオンにします



- 2 ポジションを選びます



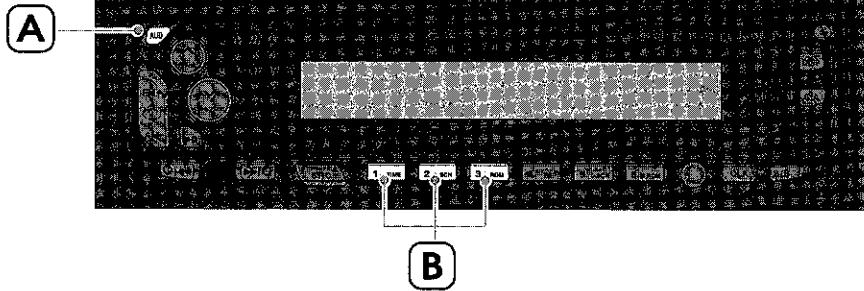
● ポジションが車室の中心 (ALL) の場合には、ルームサイズは選択できません。

- 3 ルームサイズを選びます



押すたびに、次の順に表示が切り替わります。

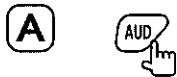




ユーザー設定のメモリー

ユーザー独自のDSP設定を3種類までメモリーしておくことができます。

1 DSPコントロールをオンにします



2 DSPを設定します

サウンドフィールド、DSP調節、イコライザーモード、イコライザーカーブ、ポジション、ルームサイズを設定します。

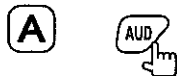
3 メモリーするボタン (1~3のいずれか) を選びます



ユーザー設定の呼び出し

メモリーしたユーザー設定を呼び出します。

1 DSPコントロールをオンにします



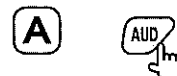
2 メモリーボタン (1~3のいずれか) を選びます



DSPディフイート

DSPの効果を解除します。

1 DSPコントロールをオンにします

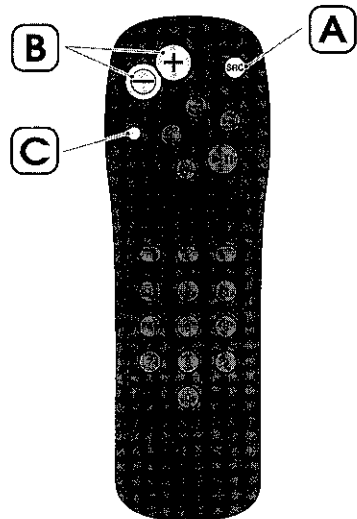


2 DSP効果を解除します



サウンドフィールドはバイパス (BYPASS)、DSP調節は初期設定、イコライザーカーブはフラット (FLAT)、ポジションは車室中央 (ALL) に設定されます。

Common Operation



ソース切り替え



プレイするソースを切り替えます。

音量調節



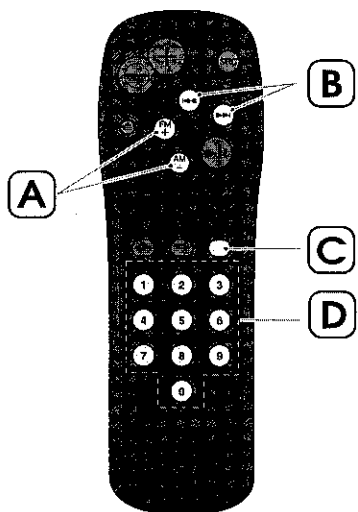
音量を調節します。

アツテネーター



ワンタッチで音量を小さくします。もう一度押すと元の音量に戻ります。

Tuner Operation

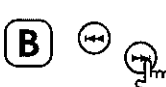


バンド切り替え



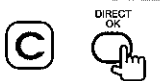
受信するバンドを切り替えます。

選局



受信する放送局を選択します。

ダイレクトサーチ



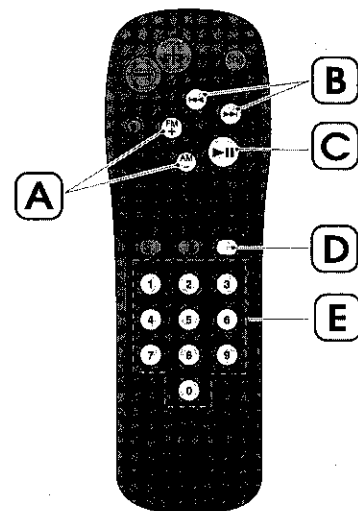
このボタンに続けて、受信する放送局をテンキーで指定します。
例：76.1MHz(FM)の場合 (3桁)
⑦⑥①
例：1242kHz(AM)の場合 (4桁)
①②④②

テンキー

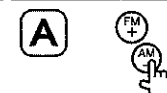


メモリーされている放送局の番号を選択します。(①~⑥)
DIRECTキーに続けて、受信するFM/AM放送局の周波数の数字を指定します。

Disc Operation



ディスクサーチ



外部ディスクチェンジャー内でプレイするディスクを選択します。また、テンキーに続けて押すと、指定した番号のディスクをダイレクトサーチします。

トラックサーチ



プレイする曲を選択します。また、テンキーに続けて押すと、指定した番号のトラックをダイレクトサーチします。

プレイ/ポーズ



プレイを一時停止します。もう一度押すと、プレイを再開します。

ダイレクトサーチ



このボタンに続けて、プレイするディスク番号をテンキーで指定します。
例：ディスク番号6の場合
⑥⑥

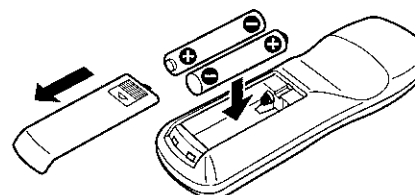
テンキー



DIRECTキーに続けて、プレイする曲のディスク番号の数字を指定します。また、テンキーに続けてディスクサーチまたはトラックサーチキーを押すと、ダイレクトサーチできます。

電池の交換

付属の電池 (単四型 2本) を +/- の向きを正しく合わせて入れてください。

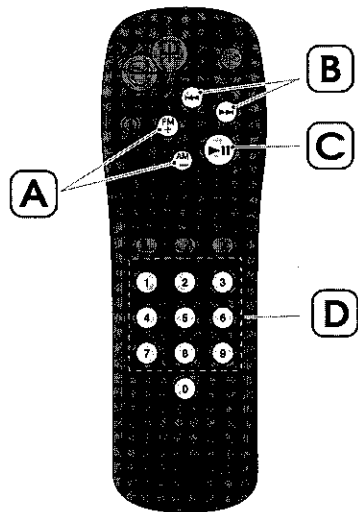


注意

リモコンは、ブレーキ操作などによって動かない場所においてください。ペダルの下などに落ちると、運転操作に支障をきたして危険です。

- 電池の向きは正しく合わせてください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池を交換するときは、2本同時に交換してください。

Tape Operation



早送り/巻戻し

A テープを早送り/巻戻しします。

DPSS

B 次の曲または現在の曲の先頭/前の曲へ飛び越し選局します。

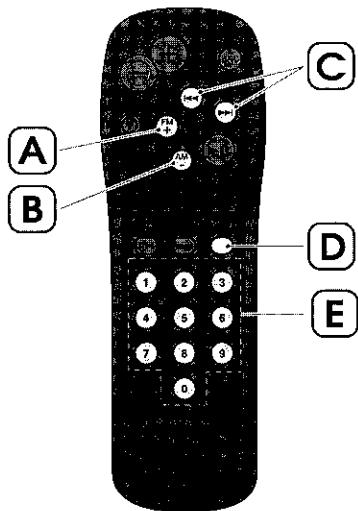
プログラム

C テープの再生方向 (A面/B面) を切り替えます。早送り、早戻し、DPSS中に操作すると、それぞれ解除されます。

テンキー

D 飛び越す曲数を指定し、 または を押します。

TV Operation



バンド/ビデオ切り替え

A 受信するバンド(TV1/TV2)およびビデオ(Video1/Video2)を切り替えます。

音声多重切り替え

B メイン音声/サブ音声を切り替えます。

チューニング

C 受信する放送局を選択します。

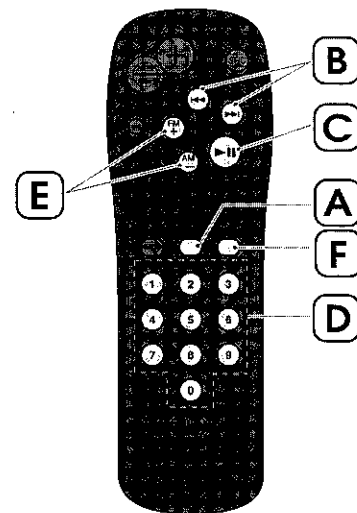
ダイレクト選局

D このボタンに続けて、受信する放送局のチャンネルをテンキーで指定します。
例: 12チャンネルの場合
 ①②

テンキー

E メモリーされている放送局の番号を選択します。(①~⑥)
また、DIRECTキーに続けて、受信する放送局のチャンネルを指定します。

SNPS/DNPS + SBF Operation



モード切り替え

A SNPS/DNPSおよびSBFモードを切り替えます。
チューナーモード中は、一度押すとSBFモードになり、もう一度押すと解除します。
ディスクモード中は、一度押すとSBFモードになり、もう一度押すと検索を開始し、もう一度押すと解除します。

カーソル

B カーソルを文字を入力する位置に移動します。

文字種切り替え

C 入力する文字の種類 (英大文字/英小文字/カタカナ) を切り替えます。

テンキー

D 文字を入力します。
例: 「コ」を入力する場合 (カタカナ)
② (5回押す)
例: 「h」を入力する場合 (英小文字)
④ (2回押す)

文字選択

E 文字を順に切り替えます。

終了

F SNPS/DNPSモードで押すと、登録完了となります。
SBFモードで押すと、選択した放送局やディスクを呼び出します。

Trouble Shooting

こんなとき	なぜ?	こうします
音が出ない/音が小さい	<ul style="list-style-type: none"> ●音量が最小になっている。 ●アッテネーターがオンになっている (リモコン)。 ●ヒューズが切れている。 ●フェダー、バランスが片方に寄っている。 ●入出力ケーブル、電源コードなどの接続が間違っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●音量を適度に上げてください。 ●アッテネーターをオフにしてください。 ●コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。 ●フェダーやバランスを正しく調整してください。 ●「接続」(56ページ)を見て正しく接続しなおしてください。
操作スイッチを押しても動作しない	内蔵のマイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。(8ページ)。
音質が悪い(音がひびく)	<ul style="list-style-type: none"> ●音量が大きすぎる。 ●スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。 ●スピーカーの配線が間違っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●音量を適正に調整してください。 ●スピーカーの配線を確認してください。 ●スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。
チューナーの感度が悪い	<ul style="list-style-type: none"> ●自動車のアンテナが伸びていない。 ●アンテナコントロール電源が接続されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナを十分に伸ばしてください。 ●「接続」(56ページ)を見て正しく接続してください。
SRCボタンを押してもMDに切り替わらない	<ul style="list-style-type: none"> ●MDがセットされていない。 ●MDのイジェクト中に操作パネルを閉めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●プレイするMDをセットしてください。 ●イジェクトボタンを押して、MDをセットしなおしてください。
MDが入らない	すでにMDが入っている。	入っているMDを取り出してから入れてください。
MDが引き込まれない	MDを入れる方向が間違っている、または裏返しになっている。	正しい方向で入れてください。
MDが引き込まれても、すぐにイジェクトされる	MDに何も録音されていない。	録音/記録されたMDを入れてください。
DNPSができない	MDをプレイしている。	本機ではMDにDNPSはできません。

こんなとき	なぜ?	こうします
MDのプレイ中に振動で音飛びする	<ul style="list-style-type: none"> ●取り付け角度が30°を超えている。 ●取り付けが不安定になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●30°以下になるように取り付けしなおしてください。 ●しっかりと取り付けしなおしてください。なお、駐停車中でも音飛びする場合はMDに原因があります。
MDのプレイ時の音質が悪い(プレイ時にノイズが入る)	<ul style="list-style-type: none"> ●MDの録音状態が悪い。 ●CDに傷や汚れがついている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●他のディスクをプレイして問題がなければ、そのディスク自体に原因がありません。 ●D909、D707の取扱説明書の「CDの取り扱い」を見て、CDをクリーニングしてください。
選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない	トラックランダムプレイがオンになっている。	トラックランダムプレイをオフにしてください。(22ページ)。
テープが入らない(X909/X707接続時)	<ul style="list-style-type: none"> ●すでにテープが入っている。 ●カセットハーフが変形している。 ●逆向きに入れようとした。 	<ul style="list-style-type: none"> ●入っているテープを取り出してください。 ●他のカセットテープを使用してください。 ●テープが見える面を右にして入れてください。
CDをプレイできない	<ul style="list-style-type: none"> ●CDが裏返しである。 ●CDが異常に汚れている。 ●結露している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●レーベル面を上にして入れなおしてください。 ●D909、D707の取扱説明書の「CDの取り扱い」を見て、CDをクリーニングしてください。 ●しばらく放置してから使用してください。
DSP効果が得られない(D909/X909/D707/X707/P707接続時)	<ul style="list-style-type: none"> ●2スピーカーシステムになっている。 ●フロントスピーカーとリアスピーカー、あるいは右スピーカーと左スピーカーが逆に接続されている。 ●スピーカーの極性が逆に接続されている。 ●フェダーまたはバランスの調整が片側に片寄っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「接続」(56ページ)を見て正しく接続してください。
SRCボタンを押しても、テープに切り替わらない(X909/X707接続時)	<ul style="list-style-type: none"> ●カセットテープがセットされていない。 ●正しく接続されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●テープをセットしてください。 ●「接続」(56ページ)を見て正しく接続してください。

Trouble Shooting

こんなとき	なぜ?	こうします
DSPをコントロールできない (D909/X909/D707/X707/ P707接続時)	<ul style="list-style-type: none"> ●DSPとしてD909/D707またはX909/X707が接続されている。 ●P707が正しく接続されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●D909/D707またはX909/X707は、それぞれの操作パネルから操作してください。 ●「接続」(56ページ)を見て正しく接続してください。
MD-CHやCD-CHとはなに?	—	MD-CHとは、外部接続されたMDチェンジャー(MD56)です。CD-CHとは、外部接続されたCDチェンジャー(C910/C906など)です。また、複数接続されている場合には、MD-CH1/MD-CH2...などと順に番号が付きます。なお、ディスクがセットされていないチェンジャーはソースとして表示されません。
CD2とはなに?	—	本機に接続されているCDプレーヤー(D909など)です。
SRCボタンを押しても、テレビに切り替わらない	正しく接続されていない。	「接続」(56ページ)を見て、TVモニターLZ-M700/VZ907を正しく接続してください。
センドしてあるアラームが鳴らない	電源がオフになっている。	電源をオンにしてください。
SNPS表示にしても「NO NAME」と表示される	ステーションネームが登録されていない。	ステーションネームを登録してください(26ページ)。
タイトル表示に切り替えても「NO TITLE」(「NO TEXT」)と表示される	ディスクタイトルやトラックタイトルが記録されていない。	MDにディスクタイトルなどを記録すると表示されます。
SBF/イニシャル検索で名前が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ●ステーションネームやディスクネームが登録されていない。 ●ディスクがディスクタイトル/ディスクテキストに対応していない。 	ステーションネームやディスクネームを登録してください(26、27ページ)。
同じ曲を繰り返しプレイするだけで、次の曲に進まない	トラックリピートがオンになっている。	トラックリピートをオフにしてください(22ページ)。
タイトルなどがスクロールされる	タイトルスクロール(MD)またはテキストスクロール(CD)がオンになっている。	タイトルスクロールとテキストスクロールは一緒にオン/オフされます。どちらかをオフにしてください。

こんなとき	なぜ?	こうします
テープでDPSS、リピート、インデックススキャンできない	曲間の無録音部分が短すぎる。	曲間に無録音部分を4秒以上入れてください。
曲の途中で早送りされる	録音レベルの低い部分が10秒間以上ある。	ブランクスキップをオフにしてください。
ブランクスキップされない	無録音部分の雑音が大きい。	雑音が小さくなるように録音してください。
曲の先頭しかがプレイされない	トラックスキャンプレイがオンになっている。	トラックスキャンプレイをオフにしてください。
チェンジャー内の同じディスクだけがプレイされない	ディスクリピートプレイがオンになっている。	ディスクリピートプレイをオフにしてください。
曲が順にプレイされない	トラックランダムプレイがオンになっている。	トラックランダムプレイをオフにしてください。
ディスクが順に演奏されない	マガジンランダムプレイがオンになっている。	マガジンランダムプレイをオフにしてください。
SNPS時に1局目のステーションネームが消えた	31局目のステーションネームを登録した。	登録できるステーションネームは30局分です。
DNPS時にディスクのディスクネームが消えた	11枚目(CDプレーヤー)または101枚目(ディスクチェンジャー)のディスクネームを登録した。	CDプレーヤーで登録できるディスクネームは10枚分です。また、ディスクチェンジャーで登録できるディスクネームは100枚分です。
ディスクネームがまちがって表示される	総録音時間とトラック数が同じディスクがすでに登録されている。	識別する方法はありません。
FM/AM放送を聞いているときに、ラウドネスで高音が強調されない	Tuner Modeでは低音のみが強調されます。	—
ノンフェーダーブリアウト出力レベル(NON-FAD LEVEL)の調節ができない	ファンクション設定のブリアウト(PREOUT)がリア(REAR)に設定されている。	ファンクション設定のブリアウト(PREOUT)をノンフェーダーブリアウト(N-F)に設定してください。
ダイレクトディスクサーチができない	ディスクチェンジャーがBUS変換ボックス"CA-57ZX"を使用して接続されている。	BUS変換ボックス"CA-57ZX"を使用しているときは、ダイレクトディスクサーチはできません。

Trouble Shooting

こんなとき	なぜ?	こうします
●バランスとフェーダー以外のオーディオコントロールが効かない ●NBASやNTREが表示される ●フロント/リアスピーカーおよびフロント/リアプリアウト (N-F選択時はフロントプリアウト) の音質調節ができない	DSPイコライザー"P707"、DPSグラフィックイコライザーCDプレーヤー"D909"/"D707"またはDPSグラフィックイコライザーカセットプレーヤー"X909"/"X707"が接続されている。	●"P707"、"D909"/"D707"または"X909"/"X707"のグラフィックイコライザーで調節してください。 ●本機でコントロールできるのはノンフェーダープリアウトの音質だけです。 ●"P707"、"D909"/"D707"または"X909"/"X707"のグラフィックイコライザーで調節してください。
MDチェンジャー"MD56"などでSNPS/DNPSできない	BUS変換ボックス"CA-57ZX"を使用して接続している。	BUS変換ボックス"CA-57ZX"を使用して接続しているユニットではSNPS/DNPSは使用できません。
MDのタイトルが正しく表示されない	漢字には対応していない。	漢字は表示できません。
ナビゲーションシステムの音声がガイドの音質に小さくなる	ナビゲーションシステムの"オーディオミュート"がオンになっている。	ナビゲーションシステムの"オーディオミュート"をオフにしてください。
TVの音声をメインとサブに切り替えられない	受信中の放送が音声多重放送ではない。	音声多重放送を受信中のみ切り替えが可能です。

●システムの接続に異常があるときは以下の表示でお知らせします。

BUS-E02: CA-57ZXの使用時にディスクチェンジャーが3台以上接続されている。


BUS-E50: センターユニットが2台以上接続されている。

BUS-E11: DSPユニット (D909/X909/D707/X707) が2台以上接続されている。

BUS-W02: 接続されているCDチェンジャーのNo.スイッチが2台とも同じNo. (または2) になっている。
⇒1台のCDチェンジャーのNo.スイッチを"1"に設定し、もう1台を"2"に設定すれば正常に使用できます。

BUS-W04: 接続されているMDチェンジャーのNo.スイッチが2台とも同じ番号 (または2) に設定されている。
⇒1台のMDチェンジャーのNo.スイッチを"1"に設定し、もう1台を"2"に設定すれば正常に使用できます。

BUS-W08: 2台以上のTVモニターがBUSで接続されている。

EJECT	: ディスクチェンジャーにマガジンが入っていない、またはマガジンが完全に入っていない。
NO DISC	: ディスクチェンジャーのマガジンにディスクが1枚も入っていない。
ERROR 04	: ディスクが異常に汚れている。 • ディスクが裏返しになっている。 • ディスクにキズが多く付いている。 • ディスクが入っていない。 • マガジンにトレイが入っていない。 ⇒ 次のディスクを自動的に演奏します。
BLANK	: 演奏しようとしたMDチェンジャーのMDに何も録音されていない。 ⇒ 次のMDを自動的に演奏します。
NO TRACK	: 演奏しようとしたMDチェンジャーのMDに何も記録されていない。 ⇒ 次のMDを自動的に演奏します。
READING	: ディスクのデータを読み込んでいる。 ⇒ ディスクのデータを読み込みが終了すると通常に演奏できます。
ERROR77	: 何らかの原因で正常に動作していない。 ⇒ 本機のリセットボタンを押してください。それでも"ERROR 77"表示が消えない場合は、お近くのケンウッドサービス窓口へお問い合わせください。
ERROR 99	: ディスクマガジンに異常がある。 • 何らかの原因で正常に動作していない。 ⇒ ディスクマガジンを取り出して、ディスクマガジン内を確認してください。 ディスクマガジンに異常がなければ、本機のリセットボタンを押してください。それでも"ERROR99"表示が消えない場合は、お近くのケンウッドサービス窓口へお問い合わせください。
CD-ROM AREA	: CD-ROMデータ領域を再生している。 ⇒ この表示中は音声が出ません。
H HOLD	: 本機および接続しているCDプレーヤー内部の温度が60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。 ⇒ 取り付け場所の温度を下ければ、しばらくのちに表示は消えます。
HOLD	: ディスクチェンジャー内部の温度が60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。 ⇒ 取り付け場所の温度を下ければ、しばらくのちに表示は消えます。
 点滅が続く	: 演奏しようとしたMDに何も録音されていない。 ⇒ 録音されたMDに入れ替えてください。 • MDプレーヤー部が正常に動作していない。 ⇒ MDを入れなおしてください。MDが取り出せない、またはMDを正しく入れなおしても点滅のままの場合は、電源をオフにしてお近くのケンウッドサービス窓口へお問い合わせください。

取り付け時のご注意

警告



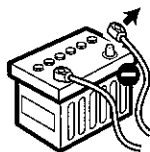
禁止



大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



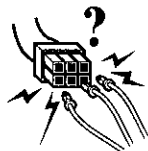
実施



配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。



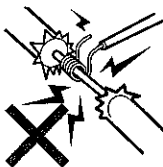
実施



本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



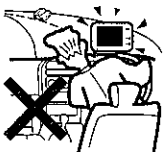
禁止



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止



本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。



実施

本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。



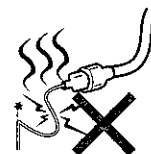
禁止



アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



禁止



車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



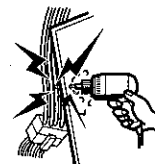
実施



車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



注意



車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因となります。



実施



本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



注意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因となります。



実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

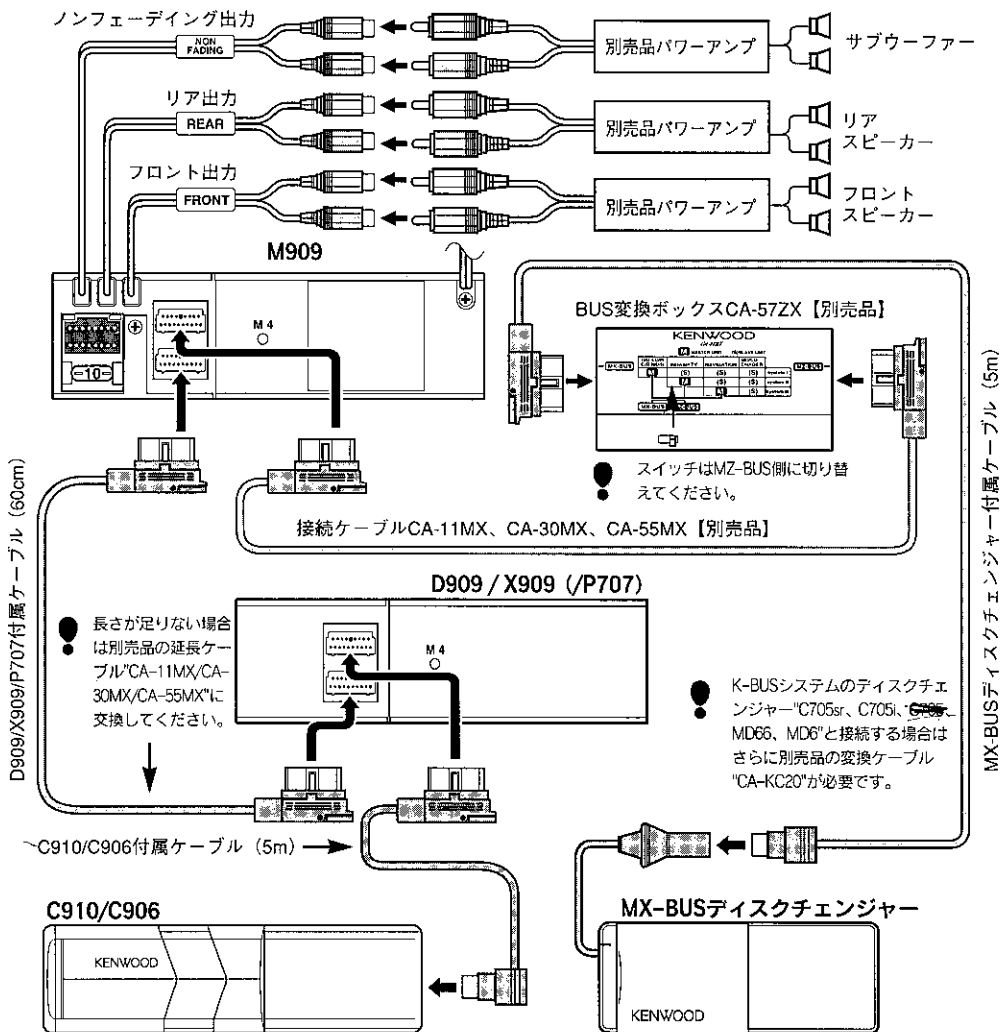
! 最初にエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

実施

1. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
2. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
3. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）の順に接続します。
4. 電源ハーネスのコネクターをM909に接続します。
5. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
6. 本機のリセットボタンを押します。

! 実施

- 接続しないBUS端子は保護キャップを外さないでください。
- 本機から外した保護キャップは、接続しているユニットの使用していない端子に差し込んでください。

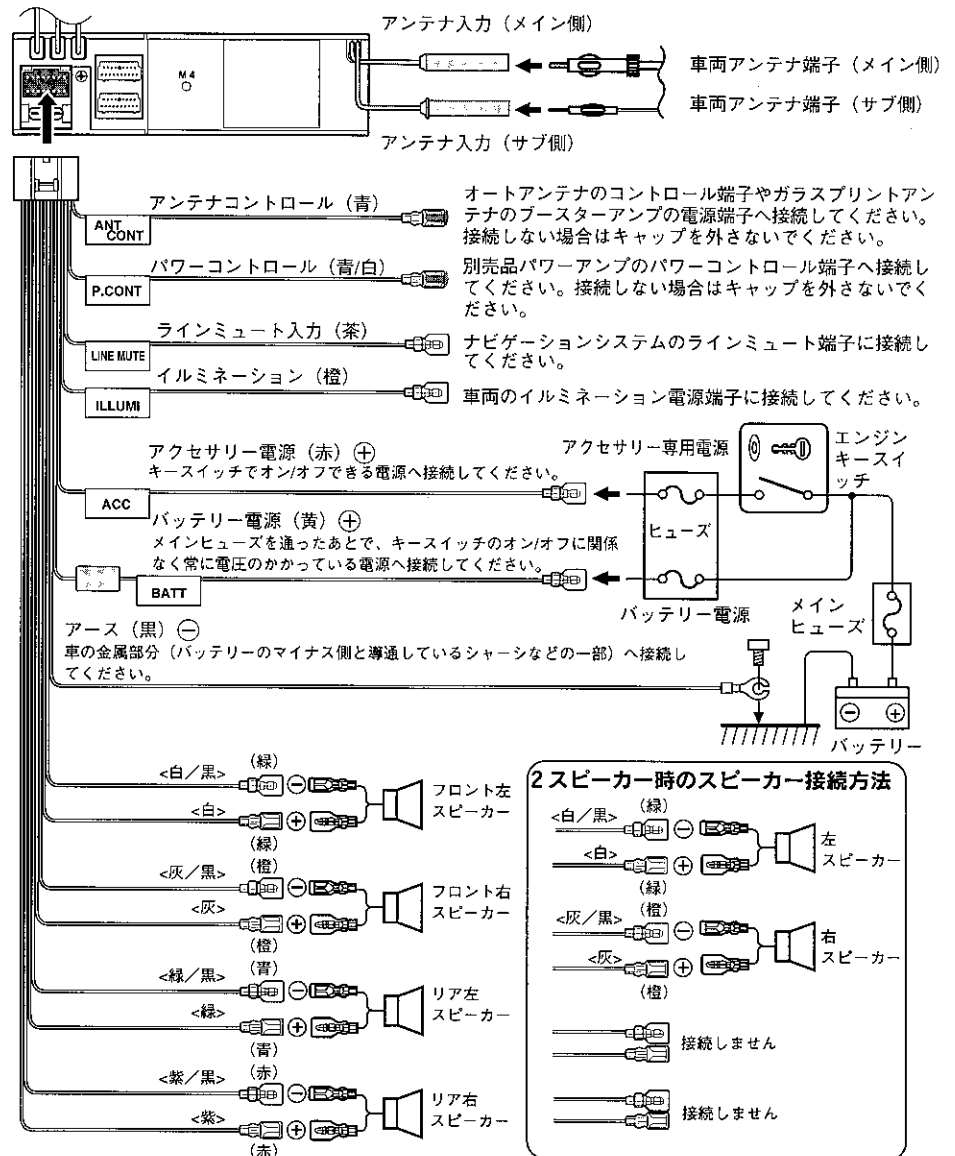


! ダイバシティアンテナの接続のしかた

ダイバシティ対応車はサブアンテナ端子を接続できます。アンテナ端子の形状が異なる場合は別売品の変換コードが必要です。詳しくはカーオーディオカタログをご覧ください。

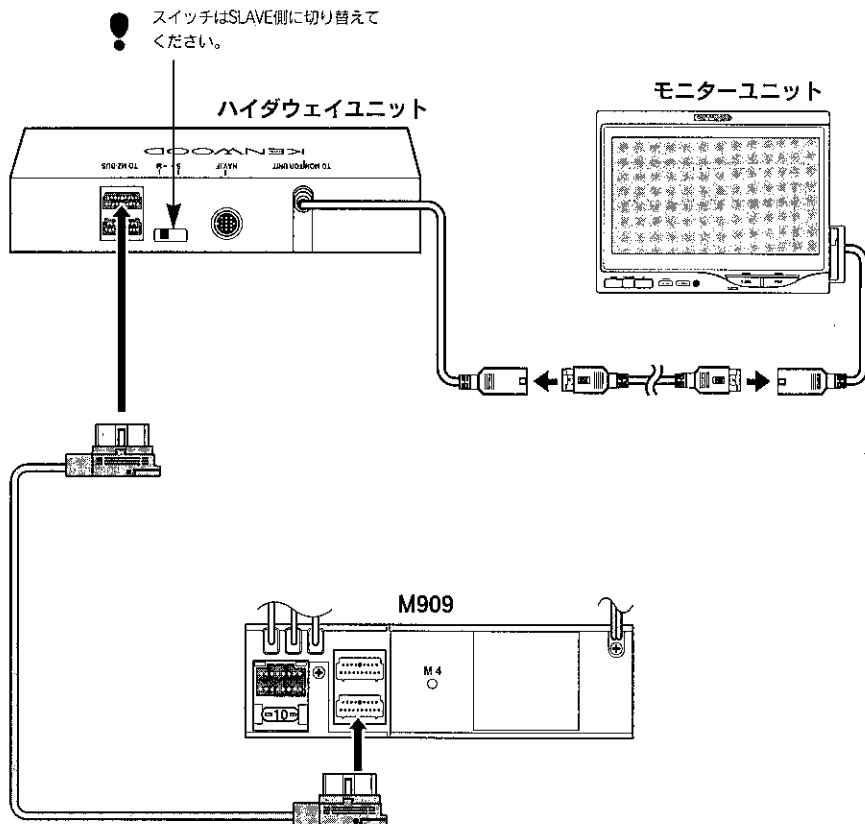
ダイバシティ未対応車へは

別売品の汎用ダイバシティ変換プラグ"CA-83U"と汎用のFMアンテナを追加すると、本機のダイバシティシステムを活用することができます。詳しくはカーオーディオカタログをご覧ください。



接続

■LZ-M700/VZ907との接続



接続ケーブルCA-11MX、CA-30MX、CA-55MX【別売品】

取り付け

付属のトラスネジ (M5×6mm) 4本を使用して車両ブラケットなどに取り付けます。



取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。

付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、本機が車両ブラケットなどから外れることがあります。



バインドネジ (M4×6mm) (付属)

車両ブラケットなど

トラスネジ (M5×6mm) (付属)

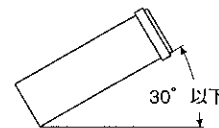


別売品のワイヤリングキットにアースコードがある場合は本機背面に付属のバインドネジで固定します。

トラスネジ (M5×6mm) (付属)



- 本機の取付角度は30°以下になるように取り付けてください。30°以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。
- 操作パネルを持って取り付け/取り外しをしないでください。破損することがあります。

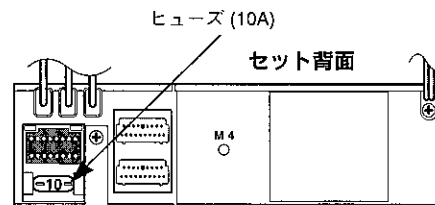


別売品のワイヤリングキットや取付キットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付ける車種に応じて用意されています。詳しくはカタログをご覧ください。

ヒューズの交換



ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量 (アンペア数) の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



保証とアフターサービス

保証について

●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日より**1年**です。

修理を依頼されるときは

「Trouble Shooting」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。(別紙“ケンウッドサービス網一覧表”をご参照ください。)

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

●保証期間中は....

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後は....

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により**有料**にて修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。
(本機および一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープはあらかじめ取り出してください。)
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ (有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

- 技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代：修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)
実用感度 (S/N:30 dB)
S/N 50 dB感度
周波数特性 (±3.0 dB)
S/N比 (dB)
選択度 (±400 kHz)
ステレオセパレーション

76.0 MHz~90.0 MHz (100 kHz)
9.3 dBf (0.8 μV/75 Ω)
15.2 dBf (1.6 μV/75 Ω)
30 Hz~15 kHz
75 dB (MONO)
80 dB以上
40 dB (1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)
感度

522 kHz~1629 kHz (9 kHz)
28 dBμ

MDプレイヤー部

レーザー
デジタルフィルター
D/Aコンバーター
回転数
ワウ & フラッター
周波数特性
高周波歪率
S/N比 (dB)
ダイナミックレンジ
ステレオセパレーション

GaAlAs (ダブルヘテロダイオード、
λ=780 nm)
8倍オーバーサンプリング
1 Bit
400~900 rpm (線速度一定)
測定限界以下
20 Hz~20 kHz (±1 dB)
0.01 % (1 kHz)
93 dB (1 kHz)
90 dB
85 dB

オーディオ部

最大出力
定格出力
プリアウトインピーダンス
トーン・コントロール (低音)
(高音)

44 W × 4
28 W × 4 (4Ω, 1kHz, 10%THD)
600 Ω以下
100 Hz ±10 dB
10 kHz ±10 dB

電源部

電源電圧
最大消費電流

14.4 V (11~16 V)
10.0 A

寸法・質量

埋込寸法 (W×H×D)
質量 (重さ)

178 × 50 × 160 mm
1.7 kg

付属部品

電源ハーネス
トラスネジ (M5×6mm)
バインドネジ (M4×6mm)
リモコン

1本
4本
1本
1個

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。